

歯磨き指導の取り組み

クラスでは、新しく作った歯みがきカードで磨き方の練習をしました。



各クラスでアレンジされた
カードを使って上手に磨けています。



みんなで一緒に練習しています(^_^)。

指導・助言（多くのご意見を頂きましたが、一部のみのご紹介とさせていただきます。）

★大野先生（小児神経科）★

構造化や視覚支援は（使えない生徒もいるが）、学校だけでなく家庭や社会においても使っていけるのでよいと思う。また、このような手立てが使えることで、歯みがきだけでなく、その他にもこのような支援があればできることがあるという気づきにつながっていくと思います。

★山口先生（眼科）★

指導のビデオはとてもよかった。事前に指導することで、前年度よりも今年度の健診は上手に受けていました。

春はアレルギー性・ウイルス性の結膜炎に注意してください。アレルギー性は（花粉症など）他人にはうつりませんが、ウイルス性はうつるので注意してください。症状が表現できない子どもは目やに・充血・目の周りが赤い・片目をつぶっているなどのサインに気をつけて見てください。

★水河先生（耳鼻科）★

健康診断の結果の多くは耳垢と、鼻汁過多。耳垢は耳の入り口にたまるので、見える範囲の耳掃除を定期的にとるとよい。鼻汁過多は、鼻汁がのどに降りてきて咳がでて気管支炎をひき起こしたり、中耳炎になったりもするので、できるだけ早期に治療を。

学校医・歯科医・薬剤師の先生方の指導・助言、保護者の方からのご意見を受け、来年度も、様々な取り組みを行って行きたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。